

《プレセッション》

静岡県立大学学内競争的資金による
研究成果発表

【US(University of Shizuoka)フォーラム 2024】

令和6年9月 27 日(金)

10:00~12:00、13:00~16:00 口頭発表

13:00~13:50、14:00~14:50 ポスター発表



発表以外の研究要旨はこちらから
(静岡県立大学ホームページ)

「USフォーラム 2024」 口頭発表プログラム

会場:看護学部棟4階13411講義室

10:05 ~ 10:10

開会挨拶

令和5年度 教員特別研究推進費 採択研究課題(午前の部:10件)

No.	時間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁
							職名	氏名	
1	10:10 ~ 10:20	0:10	教授 眞鍋 敬	3	新規LNP技術を用いた脾臓へのmRNA送達に関する基盤研究	薬	教授	浅井 知浩	80
2	10:20 ~ 10:30	0:10		3	非晶質固体分散体が形成する水和ゲル機構解明がもたらす製剤設計のパラダイムシフト	薬	教授	近藤 啓	84
3	10:30 ~ 10:40	0:10		2	腸内細菌によるマクロファージ制御を介した血管バリア機能促進機構の解明	薬	教授	梅本 英司	66
4	10:40 ~ 10:50	0:10		3	BRG1による心不全発症メカニズムの解明	薬	教授	森本 達也	85
5	10:50 ~ 11:00	0:10	教授 下山田 真	3	細胞内局所加温による生体温度センサー活性化の観察	食品	准教授	内田 邦敏	161
6	11:00 ~ 11:10	0:10		3	鶏肉、豚肉、牛肉の“肉らしさ”のデジタルデータ取得	食品	准教授	伊藤 圭祐	164
7	11:10 ~ 11:20	0:10		3	AIを用いビフィズス菌産生ペプチドが腸内細菌叢に与える影響を明らかにする	食品	助教	藤浪 大輔	166
8	11:20 ~ 11:30	0:10	教授 上野 雄史	2	相対的な動作軌跡の自動分割を用いた手作業工程における手順誤りの検出システム	経情	助教	相良 陸成	224
9	11:30 ~ 11:40	0:10		2	お茶を活用したガストロノミーリズムによる茶産業に関連するコミュニティの活性化～静岡市の茶町と清水港周辺につながるインバウンド観光コンテンツの創造～	経情	准教授	カウクルアムアン アムナー	214
10	11:40 ~ 11:50	0:10		1	反転学習とハイフレックス型の組み合わせによるアクティブラーニング・プログラムの開発	経情	教授	上野 雄史	204

<研究区分>

1:教育推進 2:地域振興 3:独創・先進的研究 5:国際共同研究・国際交流の促進 学部:学部研究推進

「USフォーラム 2024」 口頭発表プログラム

会場:看護学部棟4階13411講義室

令和5年度 教員特別研究推進費 採択研究課題(午後の部:16件)

No.	時間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁
							職名	氏名	
1	13:10 ~ 13:20	0:10	教授 篁 宗一	2	精神科看護師の患者に対する怒りの感情に関する研究	看護	助教	小泉 祐貴	245
2	13:20 ~ 13:30	0:10		1	視機能の維持と健康寿命の延伸を可能とするアイケアの確立	看護	助教	三沢 萌伽	232
3	13:30 ~ 13:40	0:10		2	妊娠期からの助産所助産師との交流が女性の妊娠・出産・子育てに与える影響—他施設で出産する女性に焦点を当てて—	看護	助教	大和田 裕美	241
4	13:40 ~ 13:50	0:10	教授 林 恵嗣	2	親子関係向上のためのワークシートの開発に向けて	短大	教授	小林 佐知子	262
5	13:50 ~ 14:00	0:10		2	腸オルガノイドを用いた栄養素吸収機能の測定	短大	准教授	竹下 典子	266
6	14:00 ~ 14:10	0:10	教授 雨谷 敬史	3	市販ポリウレタンフォームなどの室内イソシアネート汚染ポテンシャル評価	食品	助教	野呂 和嗣	165
7	14:10 ~ 14:20	0:10		3	車室内空気中未規制物質のノンターゲット分析を用いた網羅的リスク評価スキームの構築	食品	助教	徳村 雅弘	167
8	14:20 ~ 14:30	0:10		2	ワサビ及びコマツナにおける揮発性有機化合物の放出と害虫の食害選好性	食品	助教	増井 昇	144

No.	時間	所要時間	座長	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁
							職名	氏名	
9	14:40 ~ 14:50	0:10	教授 眞鍋 敬	3	医薬品合成を指向した有機触媒の光駆動型反応によるフッ素含有化合物の合成	薬	教授	濱島 義隆	*
10	14:50 ~ 15:00	0:10		3	硫黄原子の価数の自在制御を実現する硫黄導入型高選択的有機合成反応の開発	薬	准教授	小西 英之	92
11	15:00 ~ 15:10	0:10		2	抗薬物抗体に対する高親和性DNAアプタマーの獲得とADAアッセイへの展開	薬	教授	轟木 堅一郎	24
12	15:10 ~ 15:20	0:10		2	ヒトパラインフルエンザウイルスの感染予防をめざした食品成分の探索	薬	准教授	高橋 忠伸	11
13	15:20 ~ 15:30	0:10	教授 澤田 敬人	1	多様なマイノリティとの共生を推進する教育に関する研究	国際	講師	二羽 泰子	188
14	15:30 ~ 15:40	0:10		1	第一次世界大戦期アメリカにおける海外戦場墓地巡礼についての歴史社会学的研究	国際	准教授	望戸 愛果	189
15	15:40 ~ 15:50	0:10		1	日本語を母語とする英語学習者による非対格動詞の過剰受動化の誤りに関する研究	国際	助教	岡村 明夢	190
16	15:50 ~ 16:00	0:10		2	聴覚的・直感的な言語・身体トレーニングとその教育的含意——SPAC俳優による演劇ワークショップをとおして	言コミ	特任講師	小田 透	252

16:00

閉会

<研究区分>

1:教育推進 2:地域振興 3:独創・先進的研究 5:国際共同研究・国際交流の促進 学部:学部研究推進

*知的財産保護のため要旨集へは非公開

「USフォーラム 2024」ポスター発表プログラム

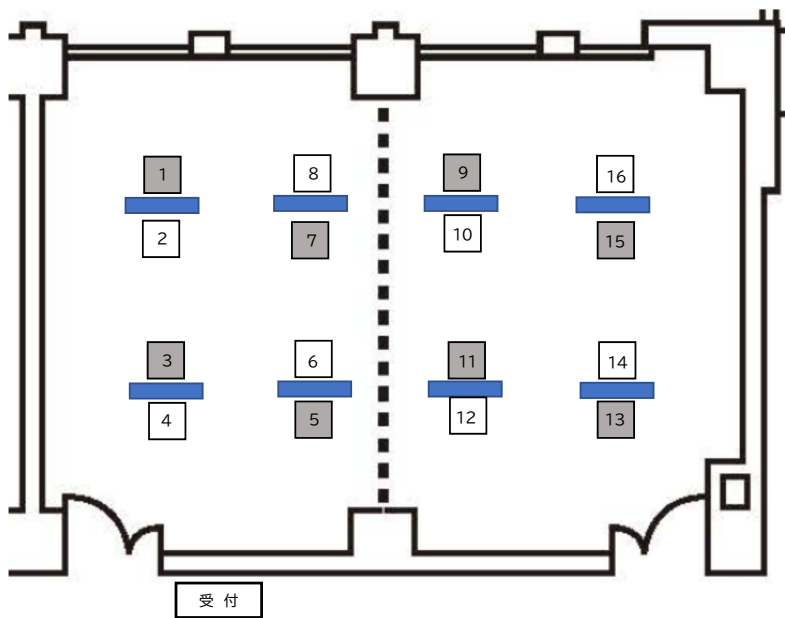
会場:看護学部棟4階13402講義室ほか

12:55 ~ 13:00 開会説明							
令和5年度 教員特別研究推進費 採択研究課題(前半27件、後半27件 計54件)							
番号	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁
					職名	氏名	
1	前半の部 (奇数番号) 13:00 ~13:50 後半の部 (偶数番号) 14:00 ~14:50	2	乳がんの予防法・治療法の改善に向けた核内受容体PXRの機能解析	薬	助教	保坂 卓臣	15
2		3	化合物データベースを用いた構造活性相関研究に基づく肝線維化治療標的分子の探索	薬	助教	山口 桃生	79
3		2	生体システムを利用した臓器特異的DDSの基盤構築とその実装	薬	助教	疋田 智也	74
4		2	創薬研究を指向したキサンチン類の変換反応の開発	薬	助教	近藤 健	73
5		2	イオンモビリティ質量分析と分子シミュレーションの統合によるタンパク質の立体構造解析	薬	助教	淵上 壮太郎	71
6		2	近位依存性ビオチン標識法を活用した難発見二次代謝遺伝子の探索法の開発	薬	講師	岸本 真治	32
7		2	ナノ粒子設計技術の戦略的応用によるサクラエビ由来機能性成分の生物薬剤学的特性向上	薬	准教授	佐藤 秀行	34
8		2	生活習慣病予防を指向した微生物発酵緑茶の臨床効果の検討	薬	講師	刀坂 泰史	39
9		2	腎臓刷子縁膜上膜タンパク質をターゲットにした膜プロテオームデータ解析法の検討	薬	助教	清水 聡史	44
10		2	小児患者への臨床応用を目指した院内製剤スルファメトキサゾール/トリメトプリム含有グミ製剤の開発	薬	助教	河本 小百合	51
11		2	細胞膜中の屈曲した「あぶら」に着目した健康長寿戦略	薬	助教	村上 光	65
12		2	ヒトIKsチャネルのインストラクトーム解析による心筋興奮終焉期の再分極—弛緩同期システムの検証	薬	助教	児玉 昌美	70
13		2	母体腸内細菌叢による胎児発育機構の解析	薬	准教授	大橋 若奈	72
14		2	フェアリー化合物を基盤とする新規誘導体の合成研究	薬	助教	大内 仁志	29
15		2	糖鎖生物学を基盤としたノロウイルス感染を制御する宿主分子の探索とその機能解析	薬	助教	紅林 佑希	13
16		2	肝臓X受容体リガンド・ウアバゲニンの新規脂質代謝モジュレーターとしての可能性	薬	講師	米澤 正	23
17		2	カルニチンおよび類縁体の高感度かつ高選択的なキラル分離分析法の開発	薬	助教	古庄 仰	26
18		2	バイオプリンティング技術の応用に向けた有機物-無機物複合体の造形特性の検討	薬	助教	照喜名 孝之	37

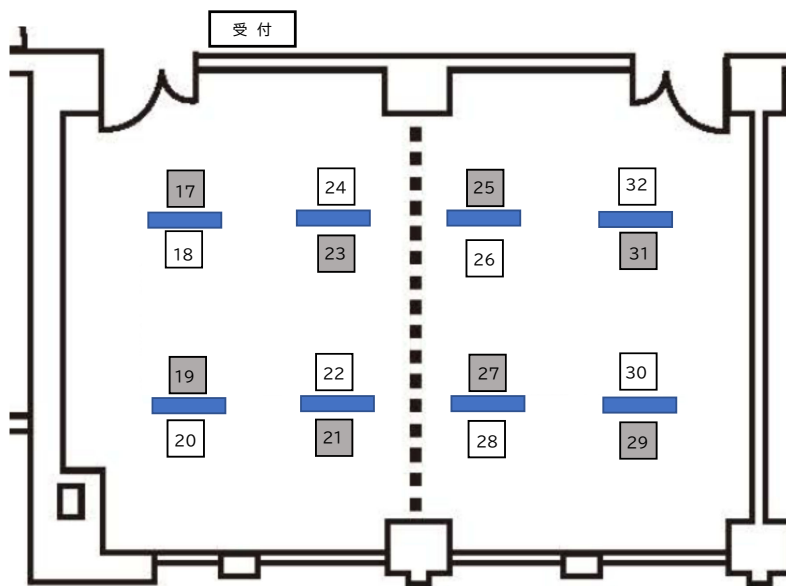
番号	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁
					職名	氏名	
19	前半の部 (奇数番号) 13:00 ~13:50 後半の部 (偶数番号) 14:00 ~14:50	2	超原子価ヨウ素試薬を用いる生体内酸性官能基修飾反応の化学選択性に関する研究	薬	准教授	江上 寛通	60
20		2	統計的時系列モデルを用いた降雨による地すべり予測	経情	講師	井本 智明	220
21		3	バイオプロダクションに資する微生物のエネルギー代謝改善法の開発	食品	准教授	原 清敬	162
22		2	地域名士の企業家に関する研究	経情	教授	落合 康裕	216
23		3	誘導型細胞小器官による植物免疫機構の解明	食品	准教授	田村 謙太郎	163
24		2	プロジェクト・ベースド・ラーニングを活かした地元企業との協働プロジェクト	経情	准教授	国保 祥子	222
25		3	立体構造・遺伝子・アミノ酸配列データベースを活用した蛋白質デザイン法の開発と実証研究	食品	准教授	伊藤 創平	171
26		1	保育者養成課程における「子ども理解」を深める教育的取り組みに関する研究-学生の学びにつながる園の実践事例の活用-	短大	助教	崔 美美	257
27		2	茶葉に含まれる総ポリフェノール分析のための簡易的比色法の検討	食品	教授	熊澤 茂則	118
28		2	歯周炎における歯根膜破壊の抑制及び悪性腫瘍細胞の転移の阻止を目的とする基礎的研究	短大	教授	吉田 直樹	258
29		1	本学のSDGs活動の推進	食品	教授	谷 晃	104
30		2	健康寿命の延伸に有効な活動とその限界に関する探索的研究-静岡県と山梨県の地域の通いの場を中心にして-	短大	教授	松井 順子	267
31		3	血中プラズマローゲン分子種の網羅的解析によるNASH診断・予防バイオマーカーの探索	食品	助教	佐藤 友紀	168
32		2	わらべうた「どちらにしようかな」の静岡県内の地域性の調査	短大	講師	山本 学	265
33		3	食事から摂取する脂肪酸種が骨格筋のミトコンドリアの質を制御し、運動トレーニング効果を加速させるのか？	食品	教授	三浦 進司	156
34		1	コロナ禍で看護基礎教育を受けた看護師の卒後支援に関する研究	看護	教授	林 みよ子	226
35		3	地球温暖化による皮膚温度の上昇と皮膚がん増加の関係-熱によるDNA修復分子の液-液相分離とシャペロンの役割-	食品	教授	伊吹 裕子	157
36		1	成人看護学領域におけるがん看護学に関する教育プログラムの検討	看護	教授	山田 紋子	227
37	3	食事間隔の延長による食後血糖悪化の病態生理の解明	食品	教授	保坂 利男	158	
38	3	母親の乳房に負担をかけない搾乳技術習得のためのシステム構築に向けた調査-熟練助産師の搾乳時に手指、手掌にかかる圧力部位の同定と概算値の測定-	看護	准教授	中川 有加	248	

番号	時間	研究区分	テーマ	部局	発表者・氏名		要旨集頁
					職名	氏名	
39	前半の部 (奇数番号) 13:00 ～13:50 後半の部 (偶数番号) 14:00 ～14:50	1	祖先型設計法を活用したモジュール型ポリケチド合成酵素におけるケト合成酵素様脱炭酸酵素ドメインの精密機能解析	食品	助教	千菅 太一	*
40		2	静岡県立大学看護学部・看護学研究科における国際看護教育と研究環境の構築	看護	教授	竹熊 カツマタ 麻子	243
41		3	人口減少と災害に起因する消毒副生成物による健康リスクの解明 ー消毒副生成物ヨードアセトニトリルによる4倍体細胞の出現とその機構ー	食品	助教	小牧 裕佳子	169
42		2	終末期高齢者の在宅での看取り支援に関する研究ー静岡県における自宅死亡に関する実態ー	看護	助教	植田 春美	244
43		3	祖先型Sortase Eを用いた固定化L-アミノ酸酸化酵素の開発とD-Trp合成法の確立	食品	准教授	中野 祥吾 (発表:助教・千菅太一)	*
44		2	在宅における看護と介護の連携に関する研究	経情	准教授	木村 綾	212
45		3	生活習慣病病態で変動する腸管内分子の探索	食品	准教授	三好 規之	159
46		1	医用画像処理を体験的に学べる環境の整備	経情	助教	小田 紘久	202
47		3	代謝的な健康的肥満と不健康肥満とを制御するメカニズムの解明	食品	准教授	細岡 哲也	160
48		1	大学教育におけるICT活用と英語プレゼンテーション授業ー授業改善による英語コミュニケーション力の向上を目指してー	言コミ	特任講師	田中 裕実	251
49		1	東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデート(その2)	国際	教授	奥藪 秀樹	177
50		2	河井家文書と日本政治(河井重蔵・弥八を中心に)	国際	教授	前山 亮吉	196
51		学部2	スポーツ・武術のグローバル化と社会的影響に関する領域横断的研究	国際	教授	奈倉 京子 (発表:准教授・孫 暁剛)	学部10
52		2	持続可能な開発目標に到達し、学生の知識と能力を開発するためのバイリンガル高校+大学コミュニティクラブ(「The SDGs Terakoya」)を継続する次の「適・小・持続」のステップ	国際	准教授	ジョナサン・ディハーン	198
53	1	ノースカロライナ州立大学とのCOIL型教育の継続とその教育的効果に関する研究	国際	教授	澤崎 宏一	179	
54	3	移民受け入れ国の比較研究ー東南アジア看護師・介護士の環流の視点から	国際	教授	米野 みちよ	199	
15:00 閉会							
<研究区分> 1:教育推進 2:地域振興 3:独創・先進的研究 5:国際共同研究・国際交流の促進 学部:学部研究推進							

【13408・13409 演習室】



【13413・13414 演習室】



【13402 講義室】

